

シークワーサーがさわやかに香るふるさとづくり (平成22年度認定)



当地区は名護市の西側に位置し、嘉津宇岳や安和岳に囲まれた緑豊かな集落である。現在でも農家人口が90%以上を占め、そのほとんどがシークワーサー生産者であるなど、昔から山間部でのシークワーサー栽培が盛んな地域である。

その中で高齢農家の手伝い等を青年農業者らが中心になって行い、協力し合う生産活動が定着してきており、シークワーサー栽培の共同作業や農道の管理等、集落全体で取り組み、施肥管理や剪定講習会等の栽培研究会を開き、栽培技術の継承を行うなど、次世代の担い手育成に力を入れている。

また勝山ブランドの確立を目指し、さまざまな商品も開発されており、さらにシークワーサーをはじめとしてカーブチーやカニステル等勝山集落で実る果実の販売にも取り組んでいる。その他勝山地区の景観を活かした「勝山・シークワーサー花香り祭」の開催や販売促進を兼ねた県外研修を年に1回行うなど、地元ブランドを発信していこうという動きが活発であり、【シークワーサーがさわやかに香るふるさとづくり】に取り組んでいる。

